

【施設状況】

グループ名称	少年科学センター								
指定管理者名	株式会社オーエンス					法人番号	5010001039404		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3323	少年科学センター							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	第1展示室、第2展示室、冒険広場、夢の劇場、実験工作室、休憩室、学習室、幼児の広場、事務室、会議室								
施設設置目的	自然科学及び近代科学技術に関する資料を収集・展示し、子どもたちの科学に対する知識の芽を養い、いつも新鮮なおどろきと楽しい雰囲気によって、潜在的興味を喚起できる施設として、科学に対する知識の啓発及び向上を図る。								
基本方針等	科学実験・科学工作教室の開催等、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、青少年の科学に対する潜在的な興味を喚起することを目指す。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの入館の受付等に関する業務</li> <li>・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務</li> </ul>								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社オーエンス				指定回数	4 回		
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日		
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)							

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	幼児	人	31,942	31,968	32,527	27,772	85%	
小・中学生	人	28,281	27,797	27,194	25,344	93%		
高校生	人	815	934	965	997	103%		
一般	人	46,276	48,420	48,996	44,960	92%		
計	人	107,314	109,119	109,682	99,073	90%		
						#DIV/0!		
						#DIV/0!		
(特記事項) ・令和2年2月までは前年を上回る来館者数であったが、新型コロナウイルス感染症の流行による政府からの外出自粛要請、および長野県・長野市の指針に基づき、感染拡大防止策として事業を縮小して開館したことにより、3月は前年対比20%程度の来館者数となり、年間目標10万人を達成することができなかった。 ・異業種と共同の特別イベントを開催した。(「笑いの日 よしもと芸人サイエンスショーとこども漫才ワークショップ」)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・センターの入館の受付等に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務			・再入館許可制度を導入した。 ・市発注や譲渡、職員製作の展示物を導入し更新を実施した。 【新規展示物】4点 ストロボ、逆遠近錯視図形、量子の不思議な世界、栄養アドバイス 【備品】4点 展示物用パソコン2点、無停電装置2点			
	自主事業	・にんじゃくんの手作りおもちゃ(日替わり工作) ・もの作り はじめの一步 ・大人の体験教室 ・わくわくカガクあそび ・チャレンジ工作・プレミアム工作 ・自動運転で動く車のしくみプログラミング教室 ・映画上映 ・天文ソフト「Mitaka」常設上映 ・特別イベント ・アウトリーチ事業 ・ミニミュージアムショップの設置 ・カプセルトイの設置			【追加事業】 ・川口市立科学館(当社受託施設)スタッフによる出張教室「宝石でお絵かき」			
サービス維持・向上の取組み(広報等)	・新規展示物を導入した際には、ホームページを活用して、情報発信した。 ・マスクミによる取材や番組出演等を積極的に受けた。3月の休校期間においては、長野市民新聞を通して、子供向けに自宅でする実験や工作を紹介し、外出自粛や事業活動縮小のなかでも事業の継続に努めた。 ・ブログを運用し、より最新の情報を発信できるようにした。 ・自主事業の情報は、広報ながの、週刊長野、子育て情報誌等を活用し、お知らせを随時掲載した。							

4

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート (2) 調査、会議等の内容 ・館内アンケートボックス、教室参加者向けのアンケート、特別企画の参加者向けアンケート、ホームページのお問い合わせフォームにおいて実施 ・利用者満足度調査(外部モニタリング)を実施し、外部専門機関に調査分析を委託し実施 調査対象:来場者無作為に配布 回答者:338人 調査方法:施設での回収 調査期間:令和元年10月1日(火)~10月31日(木) 31日間 (3) 調査、会議等の結果 ・属性 利用頻度 月に複数回6.1%、月1回程度18.0%、2ヶ月に1回程度16.9%、半年に1回程度29.2%、年に1回程度13.9%、それ以下15.9%(以下、無回答除く) 居住地 近隣地区(城山・城東・湯谷・加茂地区)在住:7.8%、長野市内在住57.6%、長野市外在住:28.7%、長野県外:6.0% ・各項目における「満足」「やや満足」と回答した利用者の満足度を見てみると、スタッフについては97.2%、イベントの内容については92.6%、総合的な評価としては93.6%の満足度を得られ、前年より上昇した。また、施設利用を友人や知人にお勧めしたいかという問いに対して、「推奨者」とされる9~10点満点を付けた回答者が39.0%と非常に高い推奨意向が示された。 ・展示物に関する要望が、平成29年度41件、平成30年度26件から、今回19件に減少している。長野市や職員の内製化による新規展示物の導入により、展示物更新の印象付けがされているのではないかと考える。	
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・小学生の時に一回学校の社会見学で来館し、高校生になってまた来たいと思い友人と来ました。すごく楽しかったです。高校生でも楽しめる場所があってすごく良かったです。 ・子どもが不思議に思ったことなどを職員の方に質問するといつも優しく丁寧に説明していただき感謝しています。 ・私がお子様の頃に来たことがあったので、子供達を連れてきてあげたいと思っていました。展示物も昔と変わっていて楽しかったです。 ・これからも子どもの安全に配慮した素敵な場所を提供し続けてください。 ・展示品も豊富ですすごい良かったです。実験や小さな子でも楽しめる磁石イベントも良かったです。人に教えると混んでしまうので、内緒にしておきたいです。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・故障展示物の復旧、新規展示物の導入、展示装置の更新 等(19件) ・トイレの更新(5件) ・駐車場への要望(7件) ≪対応措置≫ ・展示物が故障した場合は、職員・業者により迅速に修理、または職員により代替展示物を内製した。 ・新規展示物を導入した際にはホームページにて発信し、周知を図った。		

4

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金	11,373,000	利用料金	11,071,990	使用料	70,415	使用料	
	指定管理料	31,651,000	指定管理料	31,651,000	雑(納付金)		雑(納付金)		
	委託料		委託料		行政財産目的外使用料	34,889	行政財産目的外使用料	33,998	
	販売収入等		販売収入等		貸付料	585,778	貸付料	585,778	
	その他収入		その他収入	8,036	その他		その他		
	計	43,024,000	計	42,731,026	計	691,082	計	689,352	
支出	人件費	24,122,000	人件費	24,278,145	指定管理料	31,651,000	指定管理料	31,576,000	
	設備管理費	6,213,000	設備管理費	6,192,496	委託料	1,296,350	委託料	1,549,800	
	備品購入費	800,000	備品購入費	192,620	需用費		需用費		
	修繕費	700,000	修繕費	761,816	役務費		役務費		
	光熱水費	6,520,000	光熱水費	6,891,663	使用料・賃借料	1,863,528	使用料・賃借料	1,863,528	
	事業費	2,253,000	事業費	2,357,863	修繕費		修繕費		
	事務経費	640,000	事務経費	494,057	工事請負費	1,380,000	工事請負費		
	本社経費	1,200,000	本社経費	1,200,000	備品購入費		備品購入費		
	その他	576,000	その他	459,452	その他		その他		
	計	43,024,000	計	42,828,112	計	36,190,878	計	34,989,328	
自主事業	収入	1,926,500	収入	1,862,788					
	支出	1,408,350	支出	1,299,192					
	自主事業損益	518,150	自主事業損益	563,596					
損益		518,150		466,510	差引	-35,499,796		-34,299,976	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								56.7%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 館長1名(常勤)、館長補佐1名(常勤)、指導スタッフ4名(常勤3名、非常勤1名)、受付事務スタッフ3名(常勤1名、非常勤2名)、施設管理スタッフ1名(非常勤) 計10名(地元雇用:10名)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	評価				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した自主事業プログラムの開催</li> <li>・地元雇用の推進</li> <li>・地元事業者からの物品購入</li> <li>・アウトリーチ事業の推進</li> <li>・職場体験(地域活動学習)・インターンの受入</li> <li>・学生ボランティアの受入</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供プログラミング～自動運転で動く車の仕組み(5・7・8・9・11・1月の6回開催)</li> <li>・吉本興業所属芸人による「笑いの日 よしもと芸人サイエンスショーと漫才ワークショップ」の開催(8月)</li> <li>・館外サイエンスカフェ「光のゆらめきを手作り実験で再現しよう～カゲロウとシンキロウ～」の開催(10月)</li> <li>・長野工業高校の生徒が企画製作した交通安全キーホルダーの販売</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した自主事業プログラムの開催</li> <li>・地元雇用の推進</li> <li>・地元事業者からの物品購入</li> <li>・アウトリーチ事業の推進</li> <li>・職場体験(地域活動学習)・インターンの受入</li> <li>・学生ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供プログラミング～自動運転で動く車の仕組み(5・7・8・9・11・1月の6回開催)</li> <li>・吉本興業所属芸人による「笑いの日 よしもと芸人サイエンスショーと漫才ワークショップ」の開催(8月)</li> <li>・館外サイエンスカフェ「光のゆらめきを手作り実験で再現しよう～カゲロウとシンキロウ～」の開催(10月)</li> <li>・長野工業高校の生徒が企画製作した交通安全キーホルダーの販売</li> </ul>	3
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した自主事業プログラムの開催</li> <li>・地元雇用の推進</li> <li>・地元事業者からの物品購入</li> <li>・アウトリーチ事業の推進</li> <li>・職場体験(地域活動学習)・インターンの受入</li> <li>・学生ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供プログラミング～自動運転で動く車の仕組み(5・7・8・9・11・1月の6回開催)</li> <li>・吉本興業所属芸人による「笑いの日 よしもと芸人サイエンスショーと漫才ワークショップ」の開催(8月)</li> <li>・館外サイエンスカフェ「光のゆらめきを手作り実験で再現しよう～カゲロウとシンキロウ～」の開催(10月)</li> <li>・長野工業高校の生徒が企画製作した交通安全キーホルダーの販売</li> </ul>					

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>地域連携</p> <p>危機管理体制</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
<b>合計得点</b>			<b>68</b>

評価理由	<p>「2施設の有効活用」の「施設利用状況」を見ると、数年来維持していた来館者合計10万人を割り込む結果となった。ただし新型コロナウイルス感染拡大対策として一部事業等を休止した3月を除く4～2月の11か月の集計では、対前年比0.8%の増となっており、要望が多い展示物の更新や、積極的な広報により、増加を続けていたことが分かる。このことから「2施設の有効活用」について評価を4とした。</p> <p>「3利用者評価」について、利用者アンケートの結果、全項目で前年度を上回り、9割以上の高評価を得ていること、職員の内製等による積極的な展示物更新により、更新要望がH29(41件)、H30(26件)、R1(19件)と3年連続で減少したことを評価し4とした。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	<p>①多くの小中学生・高校生に興味を持ってもらえるようなイベント開催や展示の工夫をする。</p> <p>②故障中の展示物修理や古くなった展示物の更新に努める。</p>
--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

## 指定管理者自己評価

## (1) 今年度の取組みに対する評価

## ① サービス向上に向けての取組み

- ・引き続き再入館許可制度を導入し、城山公園の一体的な利用促進を図った。
- ・特別イベントにおける新テーマの立ち上げや外部連携事業の開催に重点を置いた。その結果、新企画3事業、外部連携2事業(学校1校、1団体)を実施することができた。
- ・来館者層が低年齢化している状況を踏まえ、冒険広場や幼児の広場の備品整備に取り組んだ。
- ・アウトリーチ事業(出前サイエンスショー・出前実験工作教室)を5回、団体向け教室を12回実施した。
- ・積極的な広報活動(チラシ配布、ポスター掲示、ホームページ・ブログ更新)により、施設の認知度向上に努めた。  
なお、ホームページは見やすい構成にリニューアルし、またネット犯罪対策としてSSL(Secure Sockets Layer:データを暗号化して送受信する仕組み)を新たに装備し、安全に安心して閲覧できる仕組みとした。
- ・利用者満足度調査の実施によるニーズの把握と反映に努めた。
- ・休館日の削減(第3金曜日、GW・夏・春期休業期間中の月曜日、1月2日～3日の年始開館)を実施した。
- ・地域出身の講師による講演会、教室など多分野にわたり開催した。
- ・関係団体、企業と連携し、イベントを開催した。
- ・スタンプカードの運用により、リピーターが増加している。
- ・学習室の図書、貸出用ベビーカー、トイレ手洗い場に設置する子供用踏み台を追加購入し、施設設備を充実させた。

## ② 業務の効率化に対する取組み

- ・適正な人員配置による人件費の縮減や、業務の相互補完体制を強化した。
- ・エネルギー管理の徹底に努めた。
- ・チラシ、広報物等の内製化による広告費の削減に努めた。
- ・施設管理スタッフの日常修繕実施により、小規模修繕費を削減した。
- ・展示物の製作や修理、設備修繕を内製化し、再委託を極力抑えた。
- ・川口市立科学館(当社受託施設)スタッフとの合同研修として情報交換を行い、業務改善や事業開発の参考とした。

## ③ その他

- ・「ながの子育て支援カード事業」「多子世帯応援プレミアムパスポート」に協賛し、ミュージアムショップの割引(5%)を実施した。
- ・地域活動学習(2校、計6名)、サマーチャレンジボランティア(46名)、インターンシップ(2名)の受入れを実施した。
- ・長野市家庭・地域学びの課主催の「親子わくわくフェスタintイゴ」に協力し、サイエンスショーを実施した。
- ・長野県が実施するエコプログラムに参加し、環境に配慮しつつ認知度やサービスの向上を図った。
- ・近隣地区活動として、10月に側溝清掃・草取り・ゴミ拾いに参加した。
- ・冒険広場内ボールプールと遊具・幼児の広場の消毒作業を毎週1回行い、衛生面を保つよう努めた。
- ・当社指定管理者施設の責任者会議に館長が出席し、他施設の事例発表や指定管理業務に関するディスカッションを通して、幅広く情報交換を行った。(年2回)
- ・職員の昇給や賞与支給により、職員満足度の向上を図るとともに、意欲の向上と人材確保につなげた。

## (2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・施設設備・展示装置の修繕・入れ替えに関する利用者からの要望が多い。
- ・中学生以上の来館者に対する自主事業参加の促進が課題である。
- ・指導員のさらなる知識の深化と企画・演示力の向上(外部研修の受講)
- ・消費税率改正に伴う料金設定の見直し(教室参加費、ミュージアムショップでの物販)
- ・市と協議の上、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた予防対策の実施や事業再開の判断、また来館者数や利用料金収入の減少に対して、支出の調整(抑制)を行う必要がある。(平成31年度は、3月に購入予定であった備品の購入を控えた。)

## (3) 総合評価

## 評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

B

## ① 評価理由

- 利用者より一番要望の多い展示物のリニューアルについて、業者に依頼した場合は多額の予算が必要なことから、内製化および地域団体・企業に協力を求め、平成31年度は4点を導入することが出来た。
- ・内製 ①ストロボ・ラボ ②栄養アドバイス
  - ・団体協力 ①逆遠近錯視図形(太成学院大学より寄贈) ②量子の不思議な世界(日本科学未来館)

## ② 次年度以降の取組み

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、理科教育を体現・補完する施設として最大限の体験ができる環境を整備する。
- 年間入館者数10万人を一つの目標とし、下記の取組みをはじめとした施設の求心性を高める事業展開に努める。
  - ・地域学校・企業・市内他施設との連携強化、協働事業の開催
  - ・施設内での事業を充実させるための事業整理
  - ・指導員業務と受付業務の相互補完体制をさらに強化すべく、双方の研修を実施
  - ・展示物の内製
  - ・ゆめの劇場 立体映画ソフトの質上げ  
(令和2年度は立体映画の上映なし:立体メガネの着用により、新型コロナウイルス感染症の感染を拡大する恐れがあるため)
  - ・ボランティアの育成
  - ・トイレの更新(洋式化、温水・暖房便座、漏水対策)
  - ・来館者数の多い土日祝日における軽食販売の実施(新型コロナウイルス感染症流行に伴い、令和2年度は見送り)